



水と緑のパートナー

みどり 水土里ネット

ちっぷべつだより

■発行所：北海道雨竜郡秩父別町1536番地
秩父別土地改良区
■発行者：理事長 小西 梅太郎



『東南地区資源保全協力会（会長：得能 修 氏）による活動』

も く じ

発刊のご挨拶	2 P	草刈り共同事業実施・草刈りボランティア事業実施	10～11 P
通常総代会・秋の水天宮祭並びに断水式挙行	3 P	事業の紹介	12 P
平成23年度収入支出予算	4 P	道営農業農村整備事業実施状況図	13 P
平成23年度賦課金等の額・徴収時期及びその方法	5 P	第4次土地改良事業計画について	14 P
臨時総代会・監査報告書	6 P	基盤整備の効果について	15 P
地区及び組合員の状況・組合員年齢別構成表	7 P	本土地改良区創立100年について	16～17 P
平成22年度収入支出決算	8 P	事務機構図・土地改良区からのお願い・新規採用	18 P
平成22年度財産目録	9 P		

URL <http://www.midori-chipbetu.jp/>



発刊のご挨拶

理事長

小西 梅太郎

発刊に当たり一言ご挨拶申し上げます。山の木々も少しずつ色づき最早秋のたたずみでありますが、組合員皆様にはご健勝で過ごごしの事と存じます。又、常日頃当土地改良区に対しまして暖かいご指導、ご協力を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。

顧みますと今年は、4月17日の降雪、更に5月始めまで不順な天候が続きました。このため農作業をはじめ、春の手直し工事などは大幅に遅れ組合員、受益者皆様には心配の絶えない春となりました。しかし、水稻につきましては、当初の遅れを取り戻し、平年以上の育成となった所があります。生産者と致しましては、1年の努力が報われる

豊穰の秋を迎えることが出来ました。この大きな喜びは組合員全員で分かち合いたいと思います。

さて、7月12日開催の臨時総代会におきまして、平成22年度収入支出決算は、繰越金、繰出金（積立金）共に当初の予算を大きく上回り、10年計画に基づき着実に推移いたしております。このことは組合員皆様のご理解のもと、役員・総代の経費削減に努力された賜物であり、関係各位皆様に心から感謝申し上げます。又、当区は来年創立100周年を迎えますが、これを契機に水天宮の移設新築、鳥居の建替、記念史の発刊等も計画いたしてございます。

皆様もご承知のように、我国は大変な状況であります。

東日本大震災、福島第1原発事故、続く台風の豪雨等々天災と人災が重なり、息つく暇もありません。当区に於きましても台風12号の豪雨による雨竜川の水位上昇に因りまして、8丁目頭首工の護岸が崩落・流出し、災害復旧事業の申請をしたところであります。この施設は耐用年数も過ぎており何時かは改修しなければなりません。パイプラインを始め、このような古い施設が増えてまいります。組合員皆様のご理解を頂きながら、少しでも長持ちさせるようこれからも努力しなければなりません。

さて、政府は昨年12月に食と農林漁業の再生実現会議で中間提言をまとめました。その中で、環太平洋経済連携協定「TPP」等は、今後の取り組む重要な課題と位置づけました。又、今後5年間で

農業従事者の大幅減を見込み人材確保と規模拡大をはかり、具体的な経営規模として平地では、20haから30ha、中山間地域で10haから20haとする事を示しておりますが、食料自給率50%も果たして実現出来るのでしょうか。「農畜産物や貿易の自由化」と「農業の再生」は果たして両立できるのでしょうか。農産物の「平成の開国」は必要か。交渉の参加には国民の合意が絶対必要になります。「意欲有るすべての農業者が農業を発展させる」という農村基本計画は、夢と消えるのでしょうか。野田新内閣が発足致しましたが、内外共に課題が山積みであり、まったく予断を許しません。今後もしっかりと見守りたいと思います。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。発刊のご挨拶と致します。

平成23年9月

通常総代会

(平成23年3月4日開催)

平成23年度収入支出予算

総額 6億945万7千円

平成23年通常総代会が、3月4日午後1時30分から当土地改良区大会議室において開催されました。

総代総数35名中、33名の総代の出席を得て、議長に第2選挙区の我部山豊春総代を選出、議事録記名人に第3選挙区の清水泰博総代と第1選挙区の谷口修一総代を指名し、平成23年度収入支出予算外9案件について審議が行われ、提出議案を全て原案どおり可決し、午後4時に閉会しました。

議案第6号 平成23年度農林漁業資金の借入について

議案第7号 平成23年度土地改良負担金償還平準化資金の借入について

議案第8号 平成23年度一時借入金について

議案第9号 平成23年度役員等の報酬について

議案第10号 平成23年度農地転用に伴う地区除外等決済金の基準額について

議案第11号 平成23年度積立金の処分について

議案第1号 平成22年度第3回収入支出補正予算について

報告第1号 監事の監査報告について

議案第2号 平成23年度収入支出予算について

議案第3号 平成23年度賦課金等の額、徴収時期及びその方法について

議案第4号 平成23年度農地転用に伴う地区除外等決済金の基準額について

議案第5号 平成23年度積立金の処分について



議長に我部山豊春総代が選出された

秋の水天宮祭 並びに断水式挙行

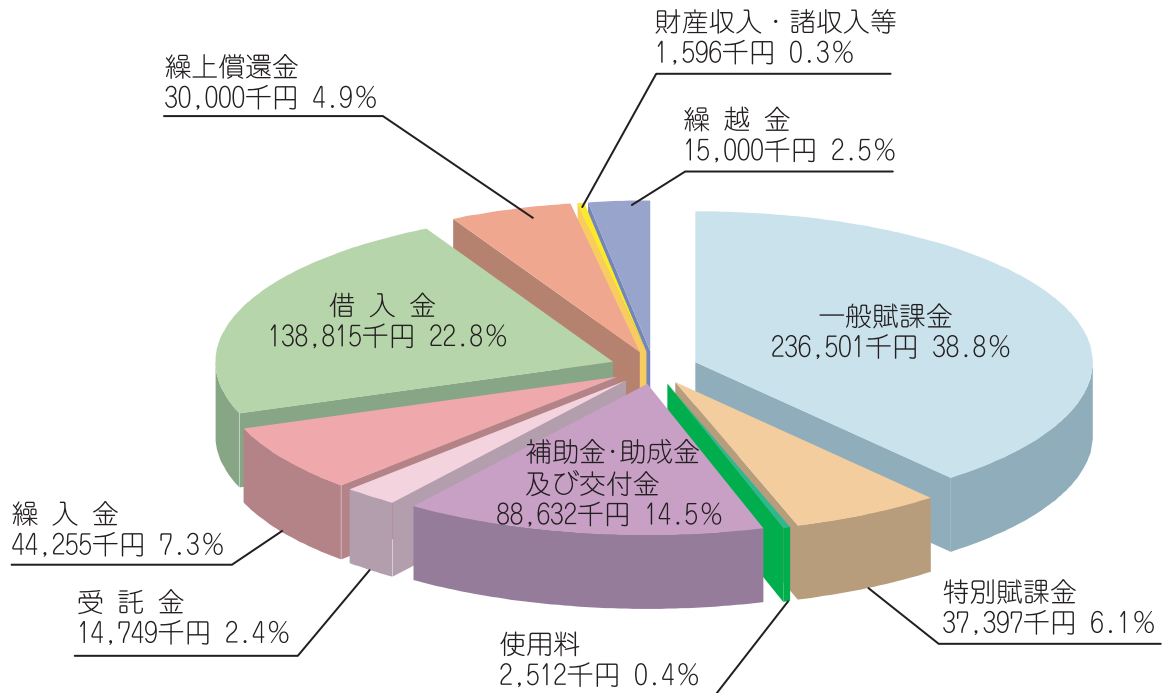
去る8月31日、秩父別土地改良区事務所において、秩父別町長・妹背牛町長、そして関係農協組合長などのご来賓参加の中、恒例の秋の水天宮祭並びに断水式が厳粛なうちに滞りなく執り行われました。



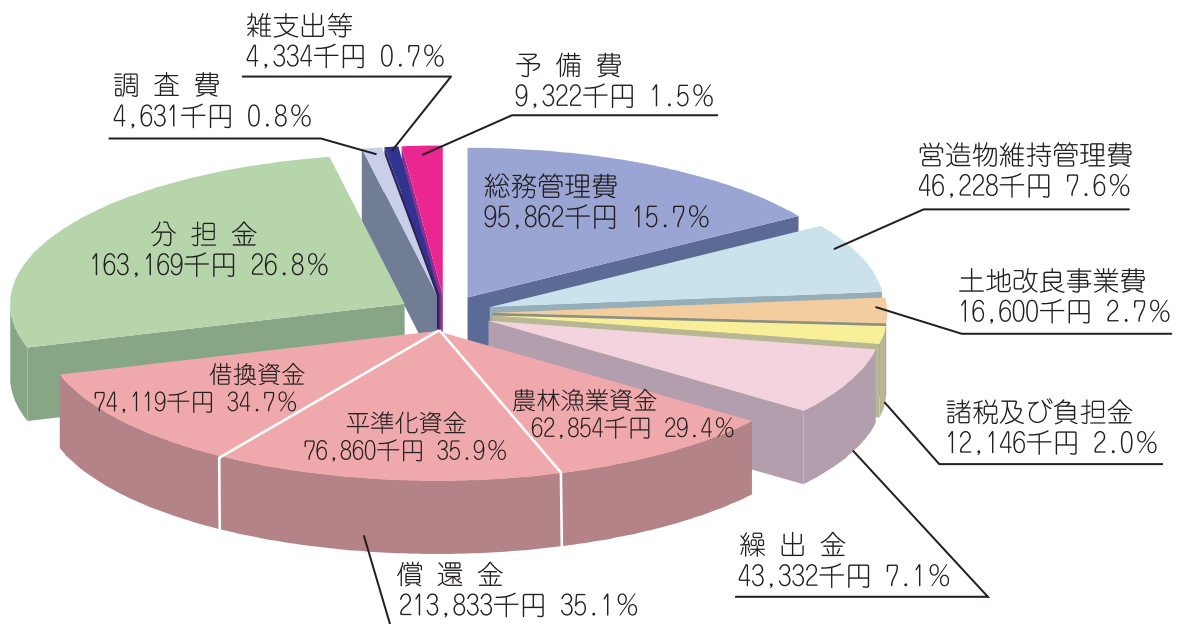
平成23年度 収入支出予算

予算総額 609,457 千円

収入



支出



平成23年度 賦課金等の額、徴収時期及びその方法

一般賦課金

地区名	10a当り賦課金額			調定期日	徴収時期
	第1期	第2期	計		
A地区	4,000円	2,000円	6,000円	H23.5.1	第1期 H23.6.20~H23.7.20
B地区	2,000円	1,000円	3,000円		
D地区	400円	200円	600円		第2期 H23.11.11~H23.12.12
地区区分	A：田であるもの B：田であって水利使用をしないもの ただし、転作田は除く D：水利使用の形態が、沢がかりのもの				

特別賦課金

地区名	期別	10a当り賦課金額	調定期日	徴収時期
原野	全期	1,470円	H23.5.1	H23.11.11~H23.12.12
上記以外の地区	//	事業費割		

使用料

地区名	10a当り使用料			調定期日	徴収時期
	第1期	第2期	計		
全地区	4,000円	2,000円	6,000円	H23.5.1	一般賦課金に同じ

加入金

地区名	期別	10a当り加入金		徴収方法	徴収時期
		総額	本年度		
全地区	全期	10,000円	5,000円	2年割賦	各年度の第2期賦課金に同じ

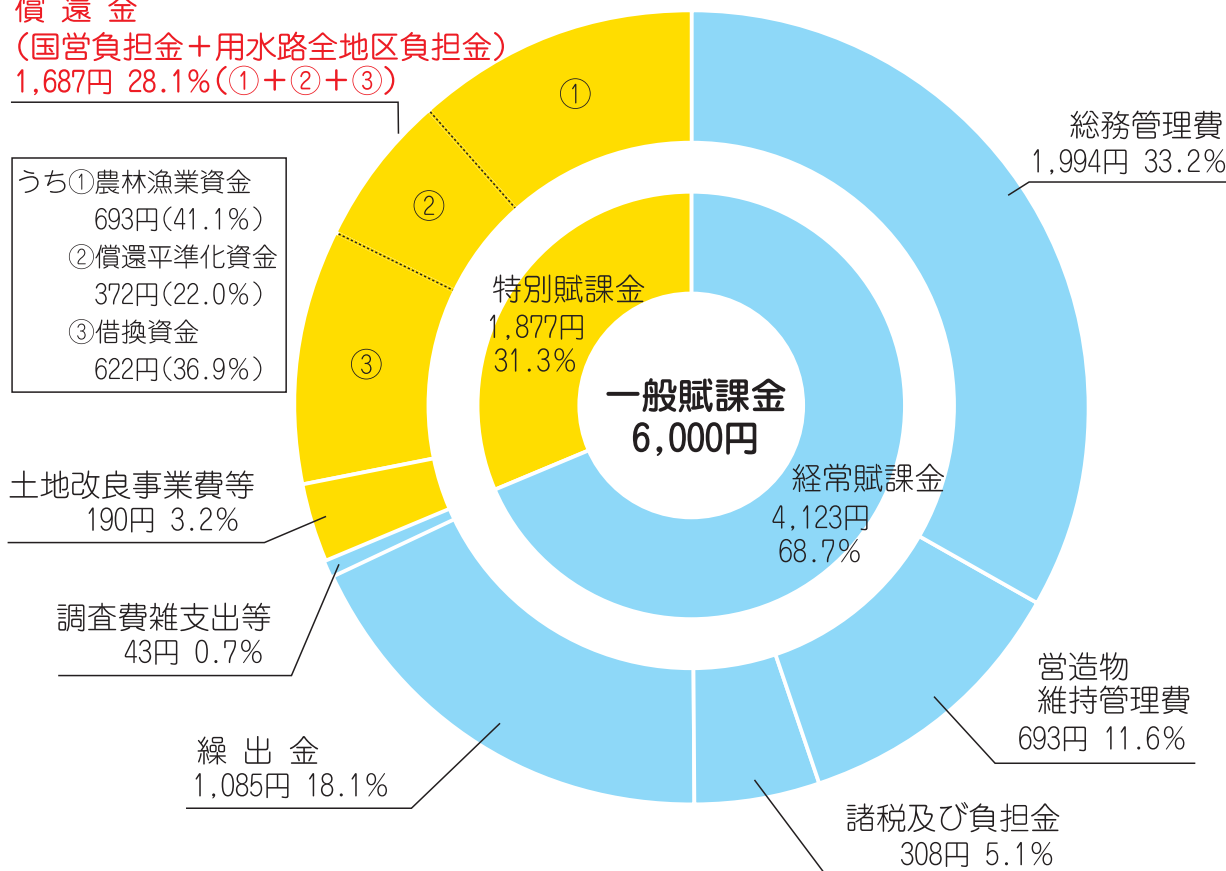
平成23年度 一般賦課金(6,000円/10a)の内訳

償還金

(国営負担金+用水路全地区負担金)

1,687円 28.1% (①+②+③)

- うち①農林漁業資金 693円(41.1%)
- ②償還平準化資金 372円(22.0%)
- ③借換資金 622円(36.9%)



※平成23年度の償還金(1,687円)は『土地改良負担金償還特別緊急支援事業(H21~H23)』により、平成23年度(最終年度)684円の助成後の額です。なお、助成された償還金相当分は、将来の事業負担金の為に積立を計画しております。

臨時総代会

(平成23年7月12日開催)

平成22年度収入支出決算などを審議する臨時総代会が、7月12日、午後1時30分から当土地改良区大会議室において開催されました。

総代総数35名中、33名の総代の出席を得て、議長に第3選挙区の向井敏則総代を選出、議事録記名人に第1選挙区の田丸政彦総代と第2選挙区の藤原賀津雄総代を指名し、平成22年度収入支出決算の承認外5案件について審議が行われ、提出議案を全て原案どおり可決し、午後4時15分に閉会しました。

議案第1号 平成22年度収入支出決算の承認について

議案第2号 平成22年度財産目録の承認について

議案第3号 平成22年度事業報告の承認について

議案第1号 監事の監査報告について

議案第4号 平成23年度第1回収入支出補正予算について

議案第5号 財産の処分について



議長に向井敏則総代が選出された

監 査 報 告 書

秩父別土地改良区定款第21条の規定により、平成22年度一般会計に関する決算監査を執行したので、次のとおり報告する。

平成23年7月12日

秩父別土地改良区

理事長 小 西 梅太郎 殿

秩父別土地改良区

代表監事 吉 田 徹

監 事 小 西 喜 明

監 事 那 須 正 利

記

1. 監 査 した 年 月 日 平成23年6月16・17日
2. 監 査 の 対 象 と し た 期 間 平成22年4月1日 から 平成23年5月31日
3. 監 査 の 結 果

(1) 業務に関する事項

- ①運営状況 議決、執行機関共に適正な運営である。
また、定款、諸規程の整備状況についても概ね良好と認めます。
- ②事業の状況 道管経営体育成基盤整備事業協栄地区、日の出地区、北部地区、東山地区、筑北地区及び道管かんがい排水事業秩父別3幹地区につきましては、計画どおり順調に施行されております。
また、土地改良施設維持管理適正化事業1地区、施設維持管理事業、一定要件農道維持管理受託事業についても適正に施行されております。

(2) 財務に関する事項

- ①会計状況 予算執行に当たっては、総代会で議決された予算書により適正に執行されました。
また、一般賦課金、特別賦課金の徴収状況につきましては、組合員各位の努力はもとより各関係農協の特段のご配慮により未収金はございません。
- ②経理状況 収入支出経理内容についての諸帳簿等は適正に整理され、証拠書類の整備状況についても良好と認めます。
また、現金、預金等の管理においても良好と認めます。

以上、全般を通じ良好と認めます。

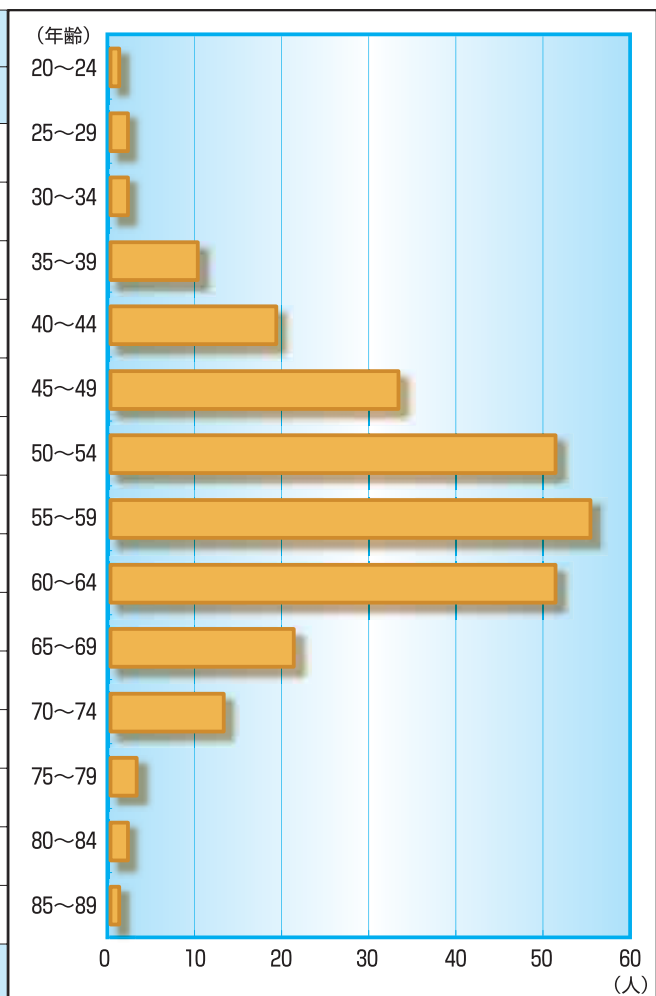
地区及び組合員の状況

年度 地積	平成21年度末	平成22年度末	比較増減
地区総地積	3,942.3ha	3,943.0ha	0.7ha
内訳 秩父別町	2,660.7ha	2,661.0ha	0.3ha
妹背牛町	1,061.8ha	1,062.2ha	0.4ha
深川市	176.1ha	176.1ha	
沼田町	43.7ha	43.7ha	

年度 選挙区	平成21年度末	平成22年度末	比較増減
第 1 区	115人	115人	
第 2 区	70人	67人	▲3人
第 3 区	84人	81人	▲3人
合 計	269人	263人	▲6人

組合員年齢別構成表

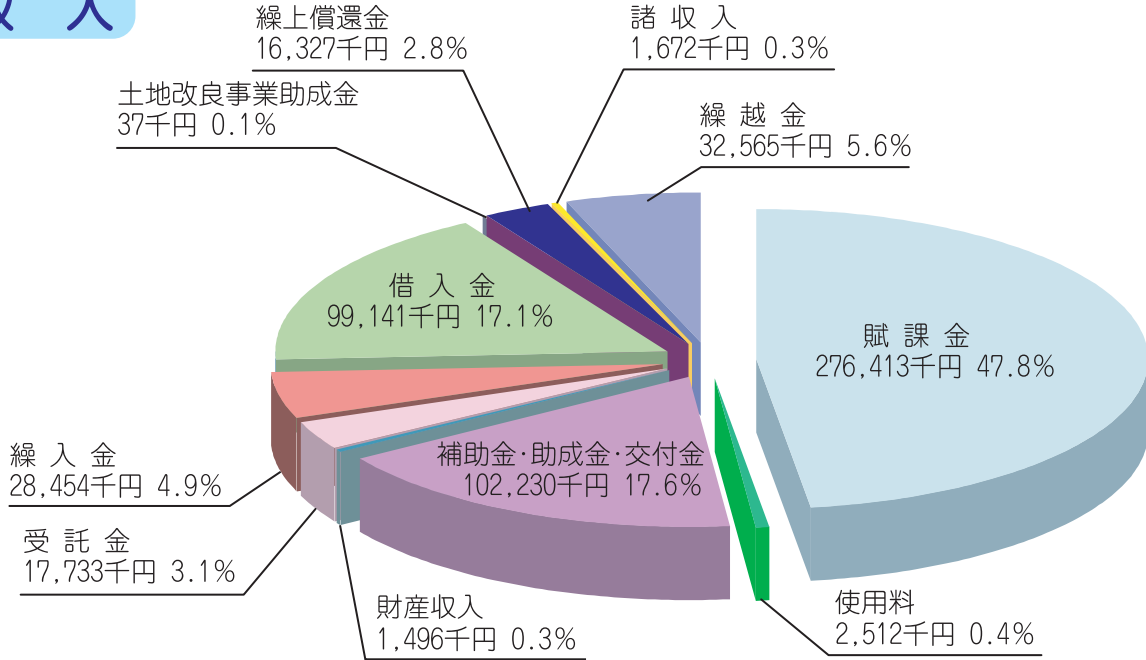
全 体		一 区		二 区		三 区	
年齢別	人数	年齢別	人数	年齢別	人数	年齢別	人数
20~24	1	20~24	0	20~24	0	20~24	1
25~29	2	25~29	1	25~29	1	25~29	0
30~34	2	30~34	0	30~34	2	30~34	0
35~39	10	35~39	4	35~39	5	35~39	1
40~44	19	40~44	6	40~44	5	40~44	8
45~49	33	45~49	18	45~49	4	45~49	11
50~54	51	50~54	18	50~54	14	50~54	19
55~59	55	55~59	29	55~59	11	55~59	15
60~64	51	60~64	24	60~64	12	60~64	15
65~69	21	65~69	5	65~69	10	65~69	6
70~74	12	70~74	6	70~74	1	70~74	5
75~79	3	75~79	1	75~79	2	75~79	0
80~84	2	80~84	2	80~84	0	80~84	0
85~89	1	85~89	1	85~89	0	85~89	0
計	263人	計	115人	計	67人	計	81人



平成22年度 収入支出決算

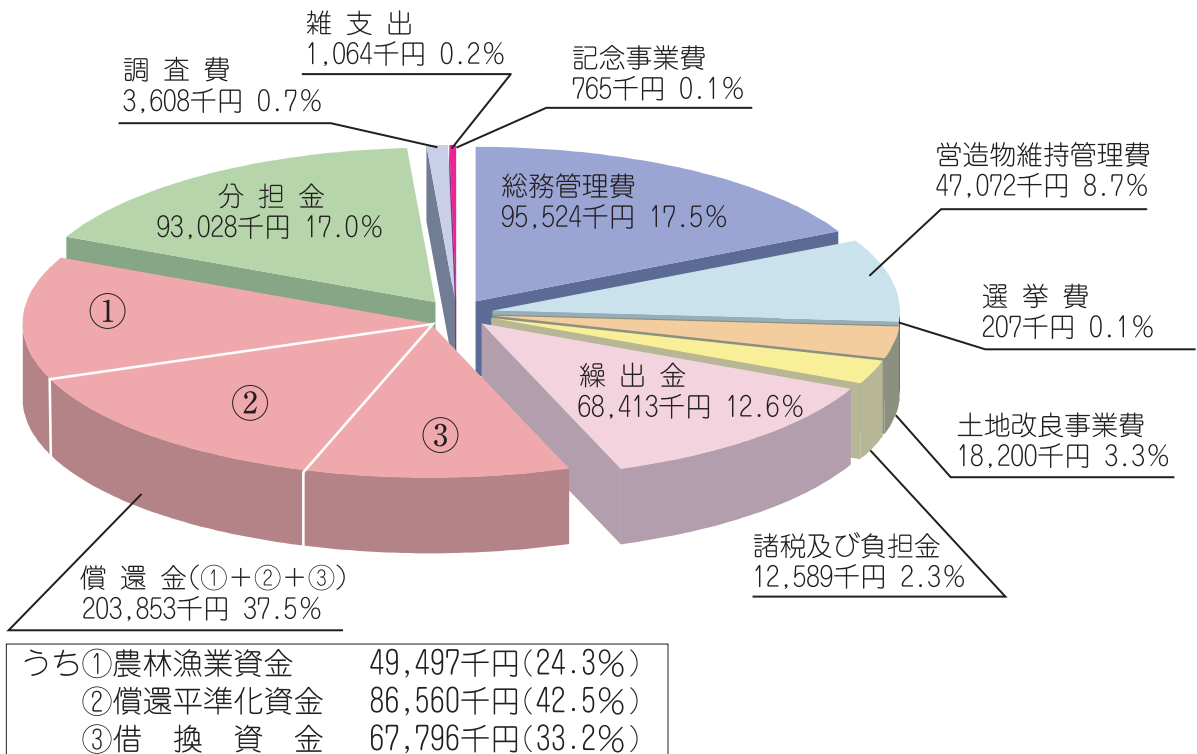
収入決算額 578,580 千円

収入



支出決算額 544,323 千円

支出



平成22年度 財 産 目 録

摘 要	金 額	摘 要	金 額
【資 産】	円		円
〈流動資産〉	37,404,819	建 物	63,015
現金及び預金	34,256,819	器材置場	63,015
現 金	10,431	建物附設物	10,547,830
預 金	2,246,388	暖房給排水衛生設備	7,440,330
一部繰越金	32,000,000	電気設備	2,766,500
前 払 金	3,148,000	電話設備(交換機)	341,000
適正化事業 32期生		〈備 品〉	51,742,830
(八丁目揚水機整備)	2,448,000	車両・機械	21,355,047
施設改善事業 23期生		事務用機械器具	23,520,918
(第3幹線補修)	700,000	事業用機械器具	6,866,865
〈特定資産〉	537,142,427		
基本財産	326,963,980	資 産 合 計	637,148,513
備荒積立金	152,982,860		円
事業積立金	53,949,680	【負 債】	
事務所敷地	34,296,588	〈長期負債〉	1,746,105,357
事務所建物		農林漁業資金借入残高 185件	959,199,416
(事務所・倉庫・車庫)	84,882,035	(利息 94件 26,223,921)	
山林(保安林)	852,817	借換資金借入残高 10件	492,695,941
積立金	208,864,447	(利息 10件 54,149,967)	
役員退任功労金積立金	1,867,871	償還平準化資金残高 29件	294,210,000
退職給与引当積立金	47,744,508	〈短期負債〉	85,270,081
決済金積立金	14,269,573	役員退任功労金必要額	1,216,672
道営負担金償還準備積立金	136,247,186	職員退職手当必要額	68,053,836
記念事業積立金	8,735,309	地区除外等決済金積立額	14,269,573
出資金	1,314,000	未払金	1,730,000
北海道信用農業協同組合連合会	630,000	(適正化・施設改善事業拠出金残高)	
農林中央金庫	90,000	負 債 合 計	1,831,375,438
北いぶき農業協同組合本所	244,000		
北海道土地改良事業団体連合会	350,000		
〈固定資産〉	10,858,437		
土 地	247,592		
山林・雑種地	247,592		



(滝の上幹線)



(第 2 幹線)



(第 1 幹線)



(8 丁目幹線)



(第 3 幹線)



(中央幹線)



(桜川幹線)

本年も6月15日と7月15日の2回にわたり、管理区長を始めとする関係組合員の皆様方に出役していただき、水土里ネットちっぷべつが管理する幹線水路敷地（総延長約80km）の草刈共同作業を実施していただきました。





(旧第3幹線)



(東山第2幹線)

組合員の皆様方におかれましては、無事に終えることが出来ましたことに対し、感謝申し上げます。ご苦勞様でした。今後ともよりよい共同事業を推進していくため土地改良区は鋭意尽力いたしますので、よろしくお願いたします。

ご協力
ありがとうございました



(藤鳳幹線)

草刈りボランティア事業が実施されました!

昨年に引き続き、6月14日と7月14・15日の3日間にわたり、秩父別町内の北垣建設工業(株)・興和建设(株)・寺迫工業(株)・高村電気(株)の4社と妹背牛町内の妻神工業(株)・青木建設(株)の2社、新十津川町内の(株)遠藤組の1社計7社がボランティアで『水土里ネットちっぷべつ』が管理する東山貯水池及び八丁目幹線用水路敷地の草刈りを実施していただきました。ありがとうございました。



(東山貯水池での草刈り作業)



(八丁目幹線での草刈り作業)

事業の紹介

排水対策の強化など重点に パワーアップ事業を継続!

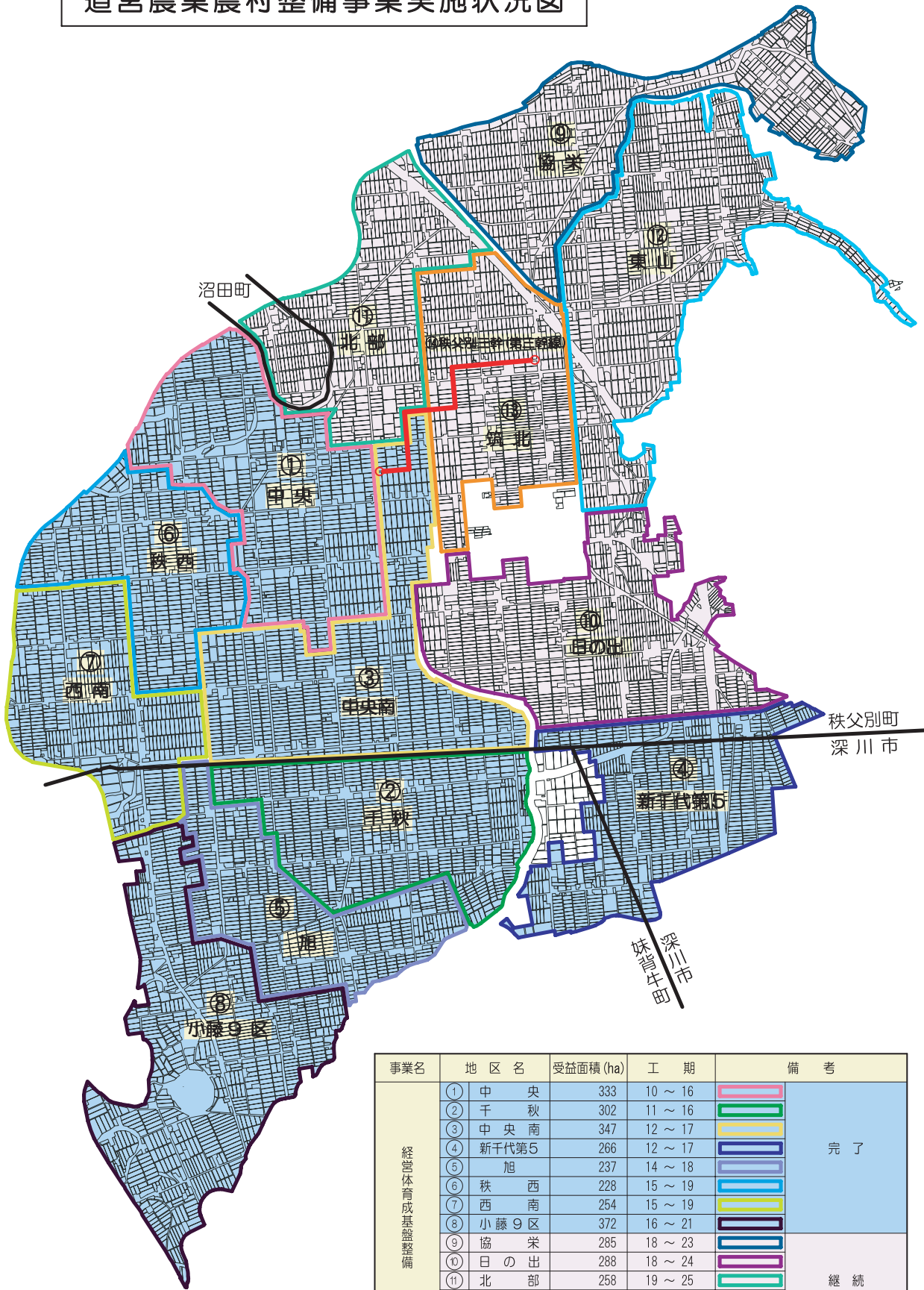
北海道は、意欲ある担い手農業者が必要な農地や農業用水利施設の整備に積極的に取り組めるよう、道と市町村が連携して農家負担を軽減するパワーアップ事業を継続することとし、平成23年度からは「食料供給基盤強化特別対策事業」として、基本的には従前の農家負担を維持しつつ、平成27年度までの5年間実施を決定いたしました。

このことにより、当区の「第3次土地改良事業計画」におけるすべての地区が、パワーアップ事業と連携して実施、完了されます。

また、本対策事業に当たっては、対策事業実施前の農家負担額から地元市町村が下表の「農家負担率」に負担軽減する場合に北海道が特例的な助成措置を講じるものであります。

対象事業名		パワーアップ事業の変遷																			
		第1期					第2期					第3期					第4期(継続中)				
実施期間		H8~H12					H13~H17					H18~H22					H23~H27				
農家負担率		5% (用水路5%)					7.5% (用水路7.5%)					7.5% (用水路10%)					7.5% (用水路12.5%)				
当区対象事業		H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
かんがい排水	秩父別																				
	秩父別2期																				
	⑭ 秩父別3幹																				
経営 体育 成基 盤 整備	① 中央																				
	② 千秋																				
	③ 中央南																				
	④ 新千代第5																				
	⑤ 旭																				
	⑥ 秩西																				
	⑦ 西南																				
	⑧ 小藤9区																				
	⑨ 協栄																				
	⑩ 日の出																				
	⑪ 北部																				
	⑫ 東山																				
	⑬ 筑北																				

秩父別土地改良区第3次土地改良事業計画
道営農業農村整備事業実施状況図



事業名	地区名	受益面積 (ha)	工期	備考
経営体育成基盤整備	① 中央	333	10 ~ 16	完了
	② 千秋	302	11 ~ 16	
	③ 中央南	347	12 ~ 17	
	④ 新千代第5	266	12 ~ 17	
	⑤ 旭	237	14 ~ 18	
	⑥ 秩西	228	15 ~ 19	
	⑦ 西南	254	15 ~ 19	
	⑧ 小藤9区	372	16 ~ 21	
	⑨ 協栄	285	18 ~ 23	継続
	⑩ 日の出	288	18 ~ 24	
	⑪ 北部	258	19 ~ 25	
	⑫ 東山	351	19 ~ 25	
	⑬ 筑北	251	20 ~ 25	
かんばい	⑭ 秩父別3幹	L=2,629m	20 ~ 24	

第4次土地改良事業計画について

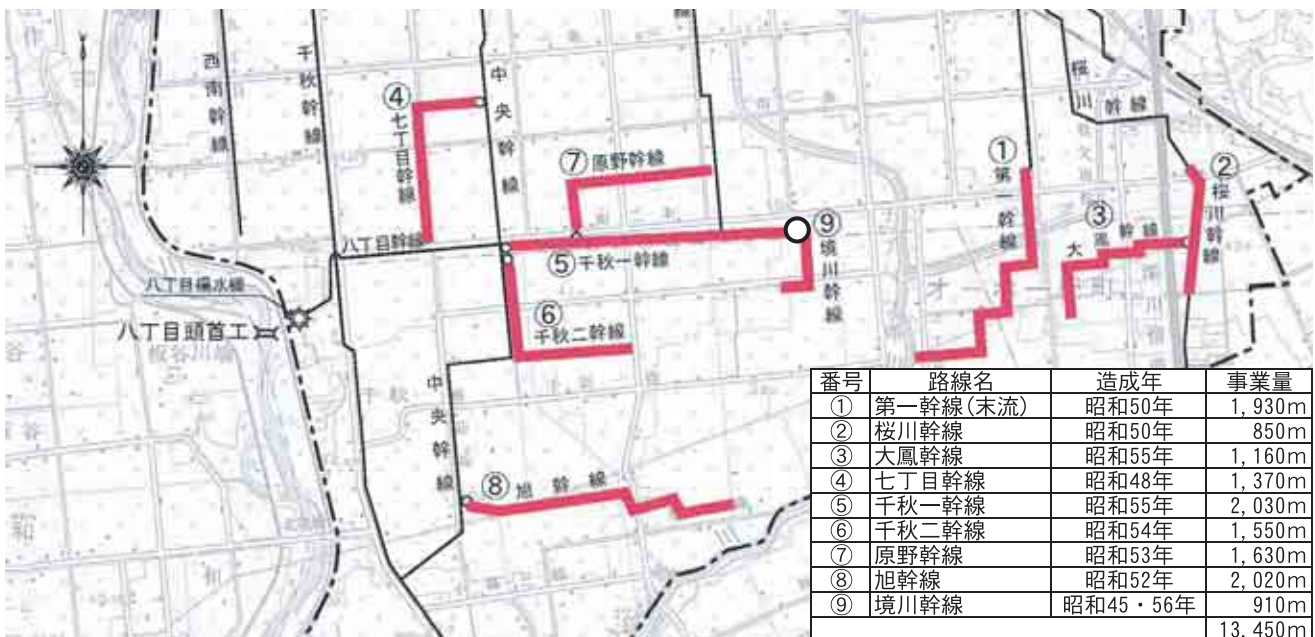
本区では、第3次土地改良事業計画で、当時事業により区画整理等実施しなかったほ場について、近年の担い手による新規参入や利用権者の希望により新たに土地改良事業の施行を希望していることは（アンケート調査集計表参照）、昨年の「水土里ネットちっぷべつだより」でご報告いたしました。来々2月には10管理区の総会が予定されている年であります。当区ではその総会に再度基盤整備事業の希望について調査を行い、平成26年度、道営事業での着工に向けて準備を進めていきたいと考えております。また幹線用水路の状況であります、「千秋一幹線」「千秋二幹線」「原野幹線」等は昭和50年代に造成したパイプライン（下図参照）であり、近年老朽による漏水が多発しており、何かと関係組合員にはご迷惑をおかけしてます。通水初期、それぞれ緊急工事として応急処置で対応してます、近いうちに全面改修の必要性に直面してます。こうした現状を踏まえ、来々2月のアンケート調査の結果を精査し、平成24年度末には【第4次土地改良事業計画】を樹立したいと考えてます。

土地改良事業希望アンケート調査集計表

（平成22年2月実施）

管理区	組合員数 (名)	回答者数 (名)	回答率 (%)	希望者数 (名)	区画整理 希望面積(a)	希望者数 (名)	暗渠排水工 希望面積(a)	希望者数 (名)	客土工 希望面積(a)
東	22	10	45%	6	2,036	7	2,459	0	0
協栄	33	15	45%	7	2,233	3	685	1	44
日の出	31	16	52%	10	3,730	8	1,590	1	502
北部	31	13	42%	10	3,198	2	296	1	25
新盛	18	8	44%	2	645	4	1,498	0	0
南	25	16	64%	13	7,241	6	3,912	3	840
西栄	24	14	58%	6	1,627	1	500	1	193
新千代	24	10	42%	3	550	3	1,240	0	0
中央	27	12	44%	9	5,304	3	1,415	1	605
小藤	34	22	65%	15	4,954	10	4,705	1	340
合計	269	136	51%	81	31,518	47	18,300	9	2,549

第4次土地改良事業幹線用水路改修計画図



農作物の収量・品質の低下を抑制

昨年引き続き基盤整備の効果を確認

北海道
農政部

北海道農政部はこのほど、平成22年度の基盤整備の有効性に関する調査報告をまとめました。水稻、畑作物、牧草の作物における、暗渠排水の整備済と未整備のほ場について、収量・品質、作業性を対比した。平成22年度は、道内では春先の低温・多雨や、6月以降は高温・多雨と推移した影響で大きな打撃を受けたが、基盤整備を実施したほ場では収量の減少や品質の低下が抑えられており、明らかな効果が確認されたとしています。

特に、水稻においては「排水条件の整備」による透水性が改善され地温が上昇することにより生育不良が軽減され、畑作物においては「排水条件の整備」による生育不良の軽減や適期作業の実施による収量・品質の低下抑制が見られ、平成22年のような厳しい気象条件下でも安定的な農業生産を確保するために基盤整備が有効であることが確認でき、農家からも高い評価を得たということです。

また、農家からの聞き取りの中では、「個々のほ場条件に応じたきめ細やかな整備」「小規模で機動的に実施できる事業」など、基盤整備事業やその進め方に対して多くの要望が寄せられ総合的な排水対策の必要性を指摘する意見もありました。高温対策としては、特に水稻で「掛け流しかんがいをを行い、ほ場地表面の冷却を行った」との対応が聞かれたが、畑作物では営農面を含め「有効な対応ができなかった」との意見が多かった。

今後は、今回の調査結果や農家の意見などを踏まえながら、基盤整備の有効性について啓発を図るとともに、弾力的な整備や事業コストの縮減などの課題に取り組み、事業に効果的な推進に努めていく必要があると総括しております。

土地改良事業の啓発・推進をする立場の土地改良区としましては、施設のストックマネジメントはもとより、組合員と一丸となって事業の効果的な推進に期待をするものであります。



(道営かんがい排水事業秩父別3幹地区 第3幹線：FRPM管φ1,350m埋設状況)

本土地改良区は、来年2012年に 【創立100年】を迎えます！

秩父別土地改良区は、来年2012年に土功組合設立後100年（土地改良区組織変更後62年）を迎えます。

ここで、簡単にその歴史を振り返りたいと思います。本区の歴史は、遠くは明治28・29年、北辺の警備と本道開拓の使命を担って、屯田兵が入植、明治35年に600haの水利権を確保し、村営事業で幹線用水路の掘削が始まったのであります。その後、相次ぐ冷災害、幾多の苦難を克服しながら、明治44年には、妹背牛村・一巴村・深川村の一部を加えて大規模な水田耕作が行われ、大正元年2900ha

をもって秩父別土功組合の誕生を見ました。そして、戦後における貧困と食糧難は、一気に食糧増産が国是として位置付けられ、併せて土地改良事業の推進が強力に求められたのであります。昭和24年、土地改良法の制定により、翌昭和25年7月25日、新しく認可が得られここに秩父別土地改良区の設立となりました。さらに、昭和34年9月、東山土地改良区との合併、泥炭地における開墾建設附帯事業等の施行により地区面積も4000haとなったのであります。その後、新たな農業の近代化が求められ、昭和38年には場整備事業の

制度創設、いち早く第1次土地改良事業計画樹立・着工、昭和61年、泥炭地を最後に待望の竣工をみたのであります。さらには、第2次土地改良事業計画として道営土地改良総合整備事業7地区が、昭和59年から平成8年までの間に実施・完了し、現在では、平成6年度に省力化に向けた営農の体系化、生産基盤の確立を目的に策定した第3次土地改良事業計画の基盤整備事業13地区・かんぱい事業3地区も、道と市町村のご理解のもと、平成8年着工以来、パワーアップ事業を支援に6地区（内かんぱい1地区）を残すだけの進捗となっており（12P参照）、国営かんがい排水事業雨竜川中央地区も平成17年度に



（平成23年8月現在）



（土功組合事務所 昭和24年11月現在）

竣功しております。

一方、平成13年には土地改良区が果たしてきた役割、機能をあらためて見直すとともに、土地改良施設の持つ多面的機能の確保など、土地改良区が地域の人たちと一緒に考え取り組んでいく「21世紀土地改良区創造運動」を全国的に展開し、その一環として土地改良区が身近で親しみやすい組織として地域や国民に認識してもらうことを目的に、その愛称を「水土里ネット」に決定をしました。「水土里ネット」は、人間の生存基盤とも言える「農地」や「水」「土地改良施設」を始めとするかけがえのない地域資源を守り育ててまいりました。来年2012年、100周年を迎えますが

「水土里ネットちっぷべつ」は一期に組合員の負託に応える事はもちろん、地域の一団体として信頼をされるよう、この節目を迎えるに当たり、気持ちを新たにしていかなければと考える次第です。

そこで本区は、平成18年度から平成23年度にわたり100周年をお祝いするための積み立てをしてまいりました。また、創立100年記念事業準備委員会（役員全員）を設置し、記念事業の内容を検討しています。が、1200万円の範囲内で100年史の発刊、記念式・祝賀会の実施、そして記念事業として、通水式・断水式を執り行う水天宮の移設を伴う新築と決定しております。それぞれすでに

発注をしている業務もありますが、記念式・祝賀会の規模などは、来年3月まで検討していく予定です。いづれにしても、創立100年の節目に当たり、新たな農業構築を目指す決意を新

たにする記念式にし、1世紀の歴史の上で堂々として培ったすばらしい遺産を後世にしっかりと引き継いで頂きたいと切望するものがあります。



昭和45年5月

○全国土地改良事業団体連合会 銅賞

昭和55年2月

○全国土地改良事業団体連合会 銀賞

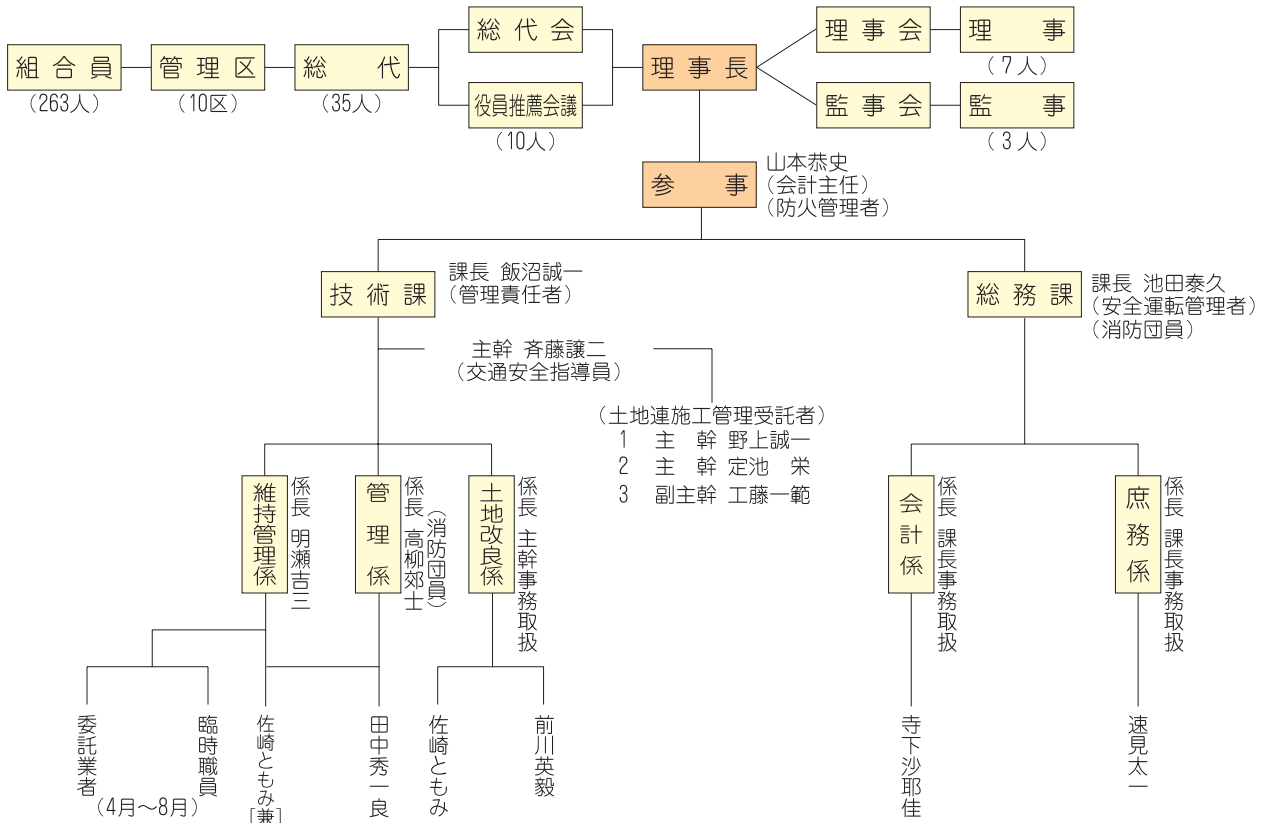
昭和61年3月

○全国土地改良事業団体連合会 金賞

平成11年3月

○農林水産大臣表彰

事務機構図



土地改良区からの お願い

組合員の 資格得喪通知について

組合員の皆様で、次のような事由が生じましたら、ご面倒でも印鑑をご持参のうえ、土地改良区に届け出をお願いいたします。

- ◎ 農地の移動（売買、賃借等）
- ◎ 経営移譲
- ◎ 住所の変更
- ◎ 贈与・死亡による名義変更
- ◎ 公共用地買収、宅地化等による転用

土地改良施設を

大切に使用しましょう

近年、農作業機械・運搬車両の大型化が進んでいます。水路管理用道路又は農道を走行する際には、パイプライン・横断管等が埋設されている箇所もありますので、十分注意して利用されるよう、お願いいたします。

新規採用

田中 秀一良

(たなか しゅういちろう)

- ・昭和六十二年五月十四日生
- ・留萌市出身
- ・北海学園大学卒業



「土地改良区の業務を1日も早く覚え、組合員の要望に応えられるよう頑張りますので、よろしくお願いします。」

よろしく

お願いします